

リクソーUCITS ETF MSCI 台湾
LYXOR UCITS ETF MSCI TAIWAN
フランス籍指数連動型上場外国投資信託

交付運用報告書

作成対象期間（計算期間）

第 8 期

2014 年 3 月 1 日～2015 年 2 月 27 日

〈お知らせ〉

運用報告書は、法令の改正により「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」に分けて作成することとなりました。本書は「交付運用報告書」です。「運用報告書（全体版）」は下記の方法にて閲覧または入手していただけます。

第 8 期末（2015 年 2 月 27 日） （ユニット米ドルの状況）		
1 口当たり 純資産価額	ユニット米ドル	1.2054 米ドル
ファンド純 資産総額		40,495,469.65 ドル
第 8 期（2014 年 3 月 1 日～2015 年 2 月 27 日）		
パフォーマ ンス	ユニット米ドル	15.56%
1 口当たり 分配金額	ユニット米ドル	該当なし

(注 1) パフォーマンスは、分配金を再投資したものとして計算しています。以下同じです。

(注 2) 本ファンドには、ユニット C-ユーロ、ユニット C-米ドルおよびユニット米ドルの 3 つのクラスが存在し、本ファンド自体の計算期間としては、2015 年 2 月 27 日が第 8 期の末日となります。ユニット C-ユーロ、ユニット C-米ドルについては、本書による報告は行われません。

▶ 運用報告書（全体版）は受益者の御請求により交付されます。
交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。さて、「リクソーUCITS ETF MSCI 台湾」（以下「本ファンド」または「ファンド」といいます。）は、このたび、第 10 期の決算を行いました。

本ファンドは、リクソーUCITS ETF MSCI 台湾ネット・トータル・リターン指数への連動を目指して運用を行いました。本ファンドのユニット米ドルの今期の運用経過等について、以下の通りご報告いたします。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

その他記載事項

▶ 本ファンドは、約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。同書は、本ファンドの管理会社の日本の関係会社であるリクソー投信株式会社のウェブサイト (<http://www.lyxor.co.jp/about-lyxor-paris/etf/>) において電磁的方法により提供しております。

◆管理会社

リクソー・インターナショナル・アセット・マネジメント

(LYXOR INTERNATIONAL ASSET MANAGEMENT)

I. ファンドの仕組み（運用方針を含む。）

投資目的

ファンドの投資目的は、ファンドのパフォーマンスと MSCI 台湾ネット・トータル・リターン指数（以下「ベンチマーク指数」という。）のパフォーマンスの間のトラッキング・エラーを可能な限り少なくしながら、ベンチマーク指数のパフォーマンスを再現することによって台湾株式市場へ投資することです。通常の市場環境の下では、予想される事後的なトラッキング・エラーは 0.1% です。

投資戦略

ファンドは、2009 年 7 月 13 日欧州指令 2009/65/EC に規定されている投資規則に従います。ベンチマーク指数のパフォーマンスと可能な限り最高の相関関係を達成するため、ファンドは間接的な複製方法を採用します。それはファンドがその投資目的を達成することを可能にさせる 1 つもしくは複数の店頭スワップ契約を締結することを意味します。これらのスワップ契約は、現金および/または貸借対照表上の資産（担保物として受領した有価証券を除く。）から構成されるファンド資産の価値と、ベンチマーク指数の裏付けとなる有価証券の価値を交換するのに役立ちます。

ファンドが投資できる有価証券は、ベンチマーク指数を構成する有価証券ならびに市場時価総額の小さな証券取引所を含む、一切の証券取引所に上場されているすべての経済セクターからの他の国際的株式も含まれます。保有資産のバスケットは、その価値が一般的に少なくとも純資産額の 100% の価値となるように、日々調整されることがあります。必要な場合、この調整は、上記スワップ契約の市場価値がゼロ未満もしくはゼロに等しいことを確保するために行われ、それはスワップから生じる相手方当事者リスクを中和させることとなります。

ファンドのポートフォリオにおける貸借対照表上の資産のバスケットの更新された構成についての情報、およびファンドによって締結されたスワップ契約の価値は、リクソーのウェブサイト www.lyxoretf.com のファンド専用ページで入手可能です。更新の頻度および/または上記情報が更新される日付もまた、上記ウェブサイトの同じページに表示されています。

ファンド資産の 20% までは、同一の発行体により発行された株式に投資することが可能です。この 20% の制限は、ベンチマーク指数の各再調整日に、この計算がベンチマーク指数のスポンサーまたは計算代理人によって実行される場合、同一発行体への投資を 20% までに制限しているベンチマーク指数の計算方法を適用してチェックされます。この 20% の制限は、例外的な市場環境によって正当化されることが示される時、特に一定の有価証券が十分に支配的である時、および/またはベンチマーク指数において表示される経済セクターに連動する金融商品または有価証券に影響を与える強いボラティリティのある場合、所定の発行体について 35% に増加されることがあります。たとえば、ベンチマーク指数有価証券に重要な影響を与える公募の場合、またはベンチマーク指数の 1 つもしくは複数の金融商品の流動性を大幅に減少させる出来事の場合に、その可能性があります。

ベンチマーク指数

ベンチマーク指数は、米ドル建て MSCI 台湾・ネット・トータル・リターン指数（純配当金再投資）です。ベンチマーク指数は、世界的な指数提供会社である MSCI によって計算され、かつ公表されている株式指数です。

ベンチマーク指数は唯一台湾の株式からのみ構成されていて、MSCI の指数と同一の基本的特徴を有し、それらは、指数株式の浮動株調整時価総額および世界産業分類基準に基づくセクター分類を含んでいます。

ベンチマーク指数は、台湾市場における各産業グループの浮動株調整時価総額の 85% を表示することを目指しています。各基本経済セクターに対する 85% の表示を目標とすることにより、ベンチマーク指数は、時価総額による台湾株式市場全体の 85% を反映させ、市場の経済の多様性を表しています。MSCI の方法論及び計算方法は、ベンチマーク指数の中の変動する会社の数に基づいています。

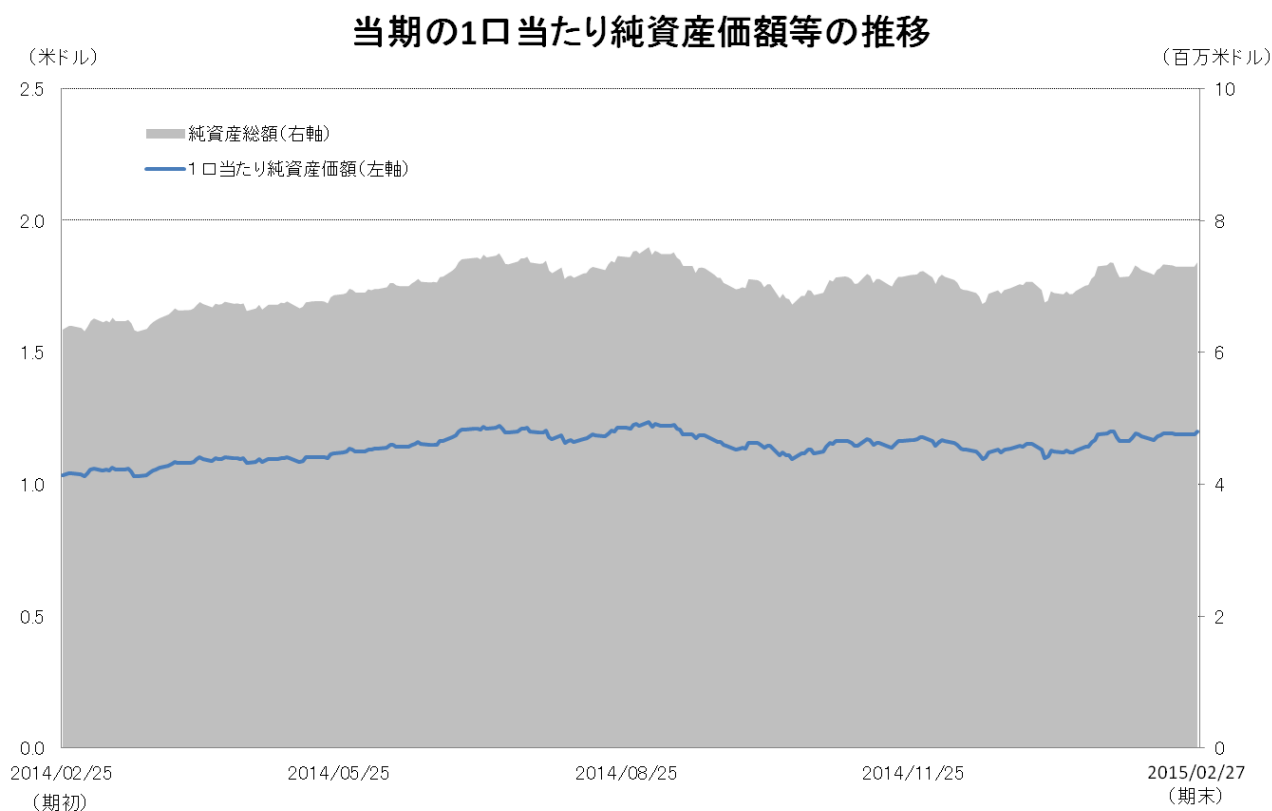
ベンチマーク指数を構成するために使用される完全な銘柄の記載および完全な方法論、並びにベンチマーク指数の構成銘柄およびそれぞれの組入比率に関する情報は、MSCI のウェブサイト www.msci.com で入手可能です。

連動するパフォーマンスは、ベンチマーク指数の米ドル建ての終値のパフォーマンスです。

ベンチマーク指数は、時価総額によって加重されています。

II. ファンドの運用の経過

(イ) 基準価額等の状況（ユニット米ドル（旧名称：ユニットA）の基準価額等の状況）



期初の一口当たり純資産価額（2014年2月28日）： 受益証券1口当たり1.0431米ドル（約129円）

期末の一口当たり純資産価額（2015年2月27日）： 受益証券1口当たり1.2054米ドル（約150円）

パフォーマンス（2014年3月1日～2015年2月27日）： 15.56%

（注1）期中における基準価額の状況については、「III. 運用状況の推移」を参照。

（注2）ファンドの投資信託財産に係る運用方針との関連については、「I. ファンドの仕組み（運用方針を含む）」および「III. 運用状況の推移」を参照。

（注3）便宜上、ユーロは1ユーロ＝135.75円の換算率（2015年7月31日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行における対顧客電信直物売買相場仲値）により換算されています。以下同じ。

（注4）便宜上、米ドルは1米ドル＝124.04円の換算率（2015年7月31日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行における対顧客電信直物売買相場仲値）により換算されています。以下同じ。

（注5）パフォーマンスは、分配金を再投資したものとして計算されています。

(ロ) 今後の運用方針

ファンドは、引き続き、ファンドの運用成績とMSCI 台湾ネット・トータル・リターン指数のパフォーマンスの間のトラッキング・エラーを可能な限り少なくしながら、MSCI 台湾ネット・トータル・リターン指数のパフォーマンスを再現することによって台湾株式市場へ投資する投資目的を追求する方針です。

(ハ) 当期中に権利の確定した1単位あたりの収益分配金

該当なし。

III. 運用状況の推移

(イ) 純資産価額等の推移

ユニット米ドル(旧名称:ユニットA)についての各会計年度末の一口当り純資産価額および2014年3月1日から2015年7月末日までの各月末の一口当り純資産価額の推移ならびに対応する指数の推移

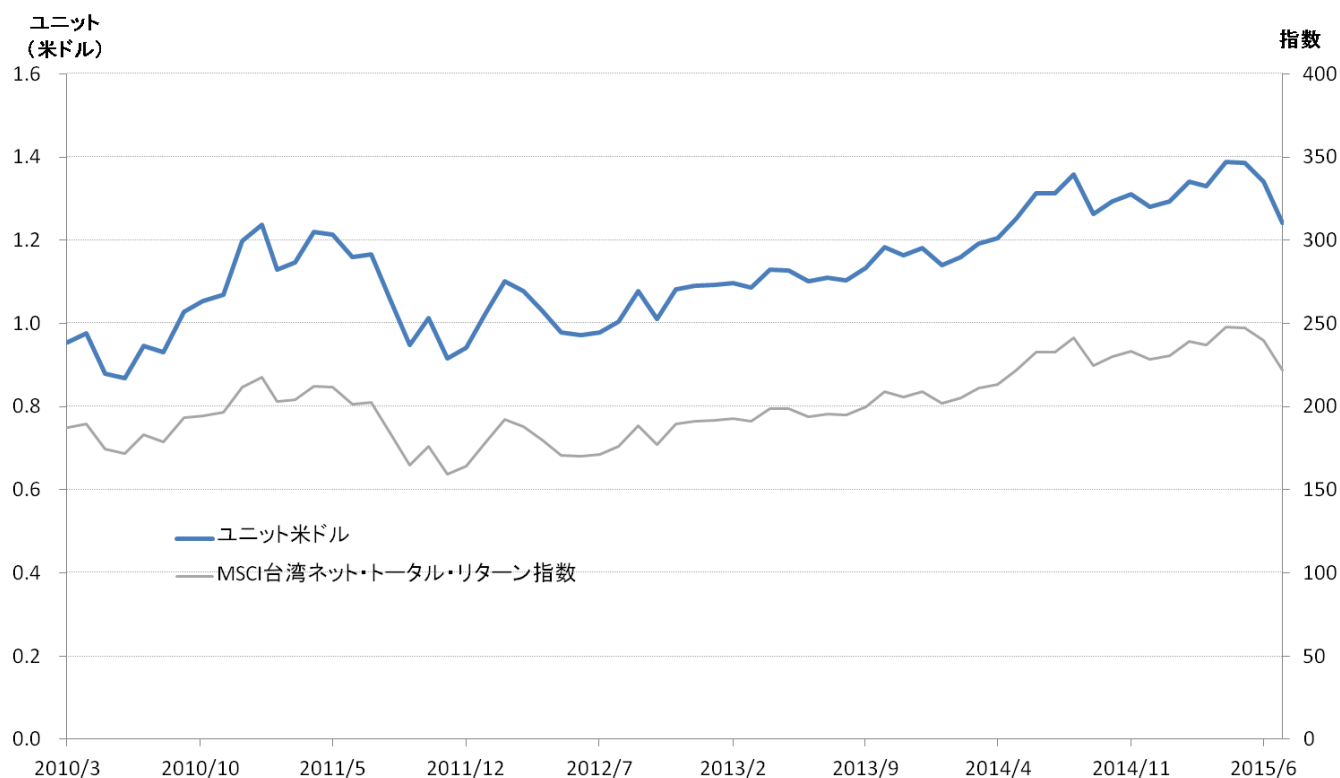
	ユニット米ドル		MSCI 台湾	MSCI 台湾 ネット・トータル・リターン
	一口当たりの純資産価額		指数の推移 (指数変更前)	指数の推移 (指数変更後)
	米ドル	円		
第1会計年度末 (2008年2月29日)	1.09	135	327.13	-
第2会計年度末 (2009年2月27日)	0.52	65	172.59	-
第3会計年度末 (2010年2月26日)	0.84	104	267.33	-
第4会計年度末 (2011年2月25日)	1.0512	130	306.58	-
第5会計年度末 (2012年2月29日)	0.9913	123	-	192.038
第6会計年度末 (2013年2月28日)	0.9862	122	-	192.576
第7会計年度末 (2014年2月28日)	1.0431	129	-	205.261
第8会計年度末 (2015年2月27日)	1.2054	150	-	239.029
2014年3月末日	1.0716	133	-	210.994
2014年4月末日	1.0836	134	-	213.501
2014年5月末日	1.1256	140	-	221.911
2014年6月末日	1.1798	146	-	232.723
2014年7月末日	1.1799	146	-	232.909
2014年8月末日	1.2219	152	-	241.320
2014年9月末日	1.1352	141	-	224.428
2014年10月末日	1.1629	144	-	230.042
2014年11月末日	1.1787	146	-	233.307
2014年12月末日	1.1522	143	-	228.233
2015年1月末日	1.1633	144	-	230.581
2015年2月末日	1.2054	150	-	239.029
2015年3月末日	1.1957	148	-	237.243
2015年4月末日	1.2491	155	-	247.960
2015年5月末日	1.2462	155	-	247.502
2015年6月末日	1.2061	150	-	239.668
2015年7月末日	1.1173	139	-	222.171

- (注1) ユニット米ドル（旧名称：ユニットA）は2007年2月13日に設定されました。
- (注2) 便宜上、ユーロは1ユーロ=135.75円の換算率（2015年7月31日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行における対顧客電信直物売買取相場仲値）により換算されています。以下同じ。
- (注3) 便宜上、米ドルは1米ドル=124.04円の換算率（2015年7月31日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行における対顧客電信直物売買取相場仲値）により換算されています。以下同じ。
- (注4) 2010年5月末日までは一口当りの純資産価額を少数点以下第2位までしか算出・公表しておりませんでした。
- (注5) 2011年6月6日に、ベンチマーク指標がMSCI台湾指数からMSCI台湾ネット・トータル・リターン指数に変更されました。
- (注6) 2011年6月6日に、ユニットAはユニットA-米ドルに名称変更されました。
- (注7) 2011年6月15日に、ユニットA-米ドルはユニット米ドルに名称変更されました。

2014年3月1日から2015年2月27日までのユニット米ドル（米ドル建）のリクソーUCITS ETF MSCI台湾のパフォーマンスは、15.56%でした。同じ期間の該当する指数のパフォーマンス（米ドル建）は16.45%でした。

- (注8) ここに記載したパフォーマンスは申込および償還手数料、ファンドユニットのコストによる影響を考慮していません。

(ロ) 分配金再投資一口当たり純資産価額（パフォーマンス）の推移



(注1) 上記グラフは、分配金再投資1口当たり純資産価格(左軸)で、実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 2011年6月6日の割合を基準として、2011年6月6日以前のMSCI台湾指数を、MSCI台湾・ネット・トータル・リターン指数に換算して表示しております。

(ハ) 収益分配金の推移

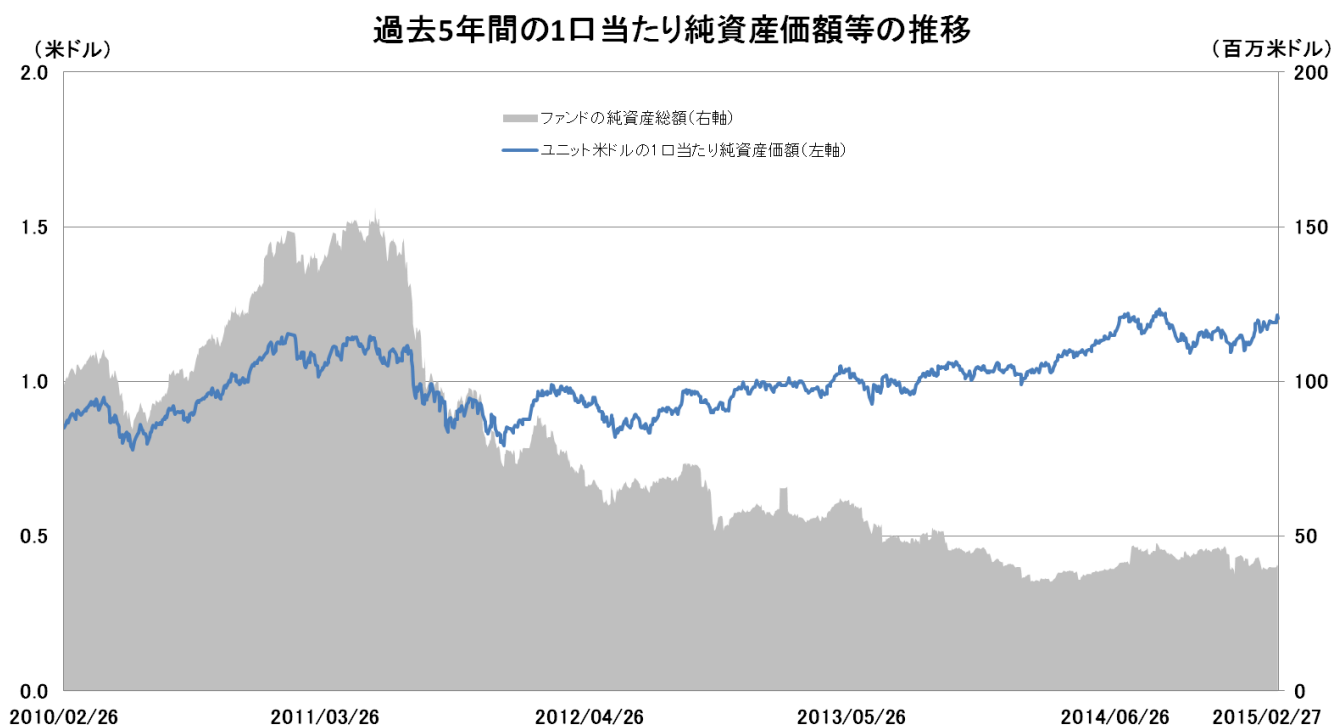
一口当たりの分配金(ユニット米ドル)

	米ドル	円
第1会計年度末 (2008年2月29日)	0.02	2
第2会計年度末 (2009年2月27日)	-	-
第3会計年度末 (2010年2月26日)	0.04	4
第4会計年度末 (2011年2月25日)	0.01	1
第5会計年度末 (2012年2月29日)	0.03	3
第6会計年度末 (2013年2月28日)	-	-
第7会計年度末 (2014年2月28日)	-	-
第8会計年度末 (2015年2月27日)	-	-

(注) 一口当たりの分配金は、当ファンドの会計処理上の通貨建(米ドル)で表示されています。

IV. 純資産及び受益証券の基準価額の状況

最近5年間の各会計年度末のユニット米ドル1口当たりの純資産価額およびファンドの純資産総額等の推移について



	第3会計年度末 (2010年2月26日)	第4期末 (2011年2月25日)	第5期末 (2012年2月29日)	第6期末 (2013年2月28日)	第7期末 (2014年2月28日)	第8期末 (2015年2月27日)
ユニット米ドル一 口当たり純資産価 額(米ドル)	0.84	1.0512	0.9913	0.9862	1.0431	1.2054
ユニット米ドル一 口当たり分配金額 (米ドル)	-	0.01	0.03	-	-	-
ユニット米ドルパ フォーマンス(%)	-	26.75	-2.35	-0.51	5.77	15.56
ベンチマークのパ フォーマンス(%)	-	14.68	-5.19	0.28	6.59	16.45
ファンドの純資産 総額(米ドル)	89,949,230.09	135,834,749.08	84,438,528.26	56,790,271.61	35,851,281.97	40,495,469.65

V. 報酬および費用ならびに役務の内容

費用の明細

項目	料率	役務の内容
管理報酬およびポートフォリオ管理会社（CAC、預託機関、販売会社、弁護士）に支払われる外部管理報酬 ^(注1)	最高で、純資産額に対する年率0.35%	管理会社のサービスに対する対価
保管報酬	純資産額に対する年率0.025%	ファンド資産の保管および管理の対価
管理事務代行報酬	純資産額に対する年率0.025%	ファンドの純資産価額の計算を含むファンドの管理事務および会計管理の対価
アウト・パフォーマンス・フィー ^(注2)	該当なし	管理会社のサービスに対する成功報酬
振替手数料	該当なし	振替手続きのサービスの銀行に対する対価

(注1) 取引手数料、アウト・パフォーマンス・フィー、UCITS への投資に伴う諸手数料を除く、すべての手数料が含まれています。除かれる取引手数料には、仲介手数料（証券会社の取引手数料、株式市場の取引税など）の他に、関連性がある場合には、特にカストディアン銀行や管理会社が徴収する可能性がある取引手数料も含まれます。

(注2) 本ファンドが目標リターンを上回るパフォーマンスを達成した場合に、アウト・パフォーマンス・フィーが管理会社に供与され、本ファンドに請求されます。また、本ファンドに請求された取引手数料も報酬に加えられることがあります。

VI. 投資の対象とする有価証券の主な銘柄

2015年2月27日現在

	投資対象の株式銘柄	数量	投資金額時価		投資比率 (%)
			(米ドル)	(千円)	
1.	ING GROEP NV-CVA	195990	2935858.811	364,163.93	7.25
2.	AHNEUSER-BUSH INBEV	22855	2914734.832	361,543.71	7.20
3.	MMC NORILSK NICKEL JSC-ADR	157421	2846171.68	353,039.14	7.03
4.	ALTICE	27008	2699152.917	334,802.93	6.67
5.	NOVATEK OAO-SPONS GDR REG S	31151	2612011.35	323,993.89	6.45
6.	ROYAL PHILIPS NV	65850	1977249.667	245,258.05	4.88
7.	ASML HOLDINGS N.V.	14702	1593147.041	197,613.96	3.93
8.	NOVO NORDISK	30500	1465639.401	181,797.91	3.62
9.	INFINEON TECHNOLOGIES AG-NOM	121955	1415101.092	175,529.14	3.49
10.	FORTUM OYJ	58303	1331453.601	165,153.50	3.29
11.	ACTELION N	10404	1252181.01	155,320.53	3.09
12.	RWE AG	43083	1207376.313	149,762.96	2.98
13.	DEUTSCHE TELEKOM AG-NOM	63839	1193655.589	148,061.04	2.95
14.	BAYERISCHE MOTOREN WERKE	8346	1057825.872	131,212.72	2.61
15.	DAIMLER	10262	995762.3077	123,514.36	2.46
16.	DELTA LLOYD	53658	976208.7403	121,088.93	2.41
17.	VOLKSWAGEN AG-PFD	3704	936860.4058	116,208.16	2.31
18.	MERCK KGAA	8574	886689.8986	109,985.02	2.19
19.	BASF SE	8956	860396.8523	106,723.63	2.12
20.	INDITEX	25940	817149.9541	101,359.28	2.02
21.	BAYER AG	5147	762342.1532	94,560.92	1.88
22.	SAMPO A	12864	650743.6426	80,718.24	1.61
23.	AEGON NV	82080	637090.0214	79,024.65	1.57
24.	LEG IMMOBILIEN	7697	634464.1603	78,698.93	1.57
25.	ORKLA ASA	75150	592908.5582	73,544.38	1.46
26.	ENAGAS	17996	553478.5514	68,653.48	1.37
27.	BANCO SANTANDER SA	73064	535393.9552	66,410.27	1.32
28.	LINDE AG	2611	532424.5977	66,041.95	1.31
29.	BAYERISCHE MOTOREN WERKE PFD	5451	528259.4626	65,525.30	1.30
30.	BANCO COMERCIAL PORTUGUES	5580543	520783.4159	64,597.97	1.29

上位30銘柄を含む投資有価証券時価総額は、41,024,778.64ユーロ（約5,088,714千円）です。

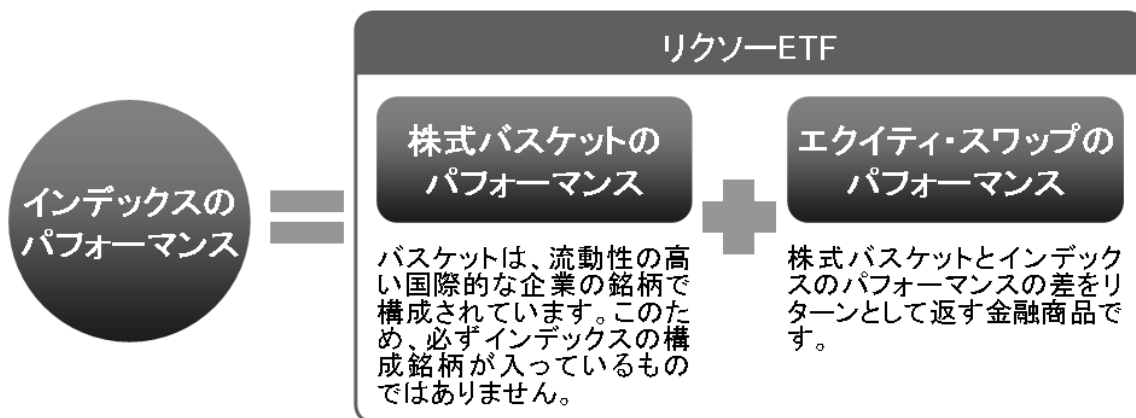
(注) 投資比率は、投資総額に対してではなくファンドの純資産額に基づくものです。

【参考情報】リクソーETFの運用の特徴について

リクソーETFでは、その運用に「シンセティック・リプリケーション」という手法を利用しています。シンセティック・リプリケーションとは、『運用資産を「合成（シンセティック）」して、インデックスを「複製（リプリケーション）」する』という意味です。

この手法では、運用者によって選択された銘柄（一般的にこれらの銘柄は、インデックスの構成銘柄ではありません。）に投資するとともに、インデックスを厳密に複製するために、「エクイティ・スワップ」に投資します。このエクイティ・スワップは、ファンドが保有している銘柄（「株式バスケット」といいます。）のパフォーマンスとインデックスのパフォーマンスの差を提供する金融商品です。

この手法を図示すると、次のとおりです。



※上図は運用方法を簡単に説明するための概念図であり、実際の運用方法と完全に一致するものではありません。また、リクソーETFの運用成果がインデックスのパフォーマンスに完全に一致することを保証するものでもありません。

ファンドはこの手法により、インデックスの複製の最適化が可能となり、複製コストの最小化によりインデックスへの連動性を高めることができます。

※株式バスケットは、流動性の高い国際的な企業の銘柄で構成されています。このため、必ずインデックスの構成銘柄が入っているものではありません。